2013 年 8 月 23 日 Ver 1.2

Logosease バージョンアップについて

ソフトウエア取扱説明書（V201016 V201017）

バージョンアップによって、以下の機能が追加されます。詳細は２ページ目以降をご確認下さい。

※ソフトウェアバージョン V201016 では、パソコンからの USB 接続で充電した際、満充電になっているにもかかわらず、
２時間以上経過しても充電 LED が消えない症状がありました。
V201017 では満充電時には充電 LED が消灯するよう変更されております。

[追加機能概要]

①３チャンネル対応

従来は１チャンネルのみでしたが、最大３チャンネルまで使用できます。
これにより、混信の低減が可能となります。

②ハンズフリー機能（ＶＯＸ機能）

声で送信モードへ切り替わり、話し終わって 3 秒後に受信モードに戻ります。
これにより、完全なハンズフリーでの会話が可能となります。

③ボイスレコーダー機能

ダイビング時の送受信の音声をボイスレコーダーとして記憶することが出来ます。
通信機能を使わずに、ボイスレコーダー機能のみを使うことも可能ですので、ダイビング時の
自分の音声ログや、バディとの会話を記憶することも可能です。
録音した音声は WAV ファイルとして保存していますので、ＰＣを初め、いろいろな情報機器で
再生・加工することが可能です。

④カスタマイズ機能

様々な機能を専用のツールを用いて、お客様の好みに応じてカスタマイズすることが出来ます。
ただし、Windows 専用のツールになっております。ご了承ください。

⑤トレーニングモード

音声がどのように相手に聞こえているのか確かめるモードです。
本機能は、従来の Logosease にも入っておりました。
詳細は、Logosease スペシャルサイトの「サポート」→「ダウンロード」より、
「Logosease トレーニングモードについて」をダウンロードしてご確認下さい。

① ３チャンネル対応

チャンネルは従来のＡチャンネルの他、Ｂチャンネルと Ｃチャンネルが追加されます。

・**Aチャンネル**：３２ＫＨｚ　ＵＳＢ　受信時は黄色点滅
・**Bチャンネル**：３６ＫＨｚ　ＵＳＢ　受信時は青色点滅
・**Cチャンネル**：４０ＫＨｚ　ＬＳＢ　受信時は水色点滅
※白の点滅は、ボイスレコーダー専用モードです。

チャンネル毎に通信特性が異なります。送受信パワーがもっともあり、もっとも指向性が広いのがＡチャンネルになります。Ｂチャンネルと Ｃチャンネルは Ａチャンネルに比べ送受信パワーが落ちます。混信時は Ｂチャンネルか Ｃチャンネルを使うことで他の人に聞かれることなく、会話を楽しむことが出来ます。

※B・C チャンネル同士は近くで話すと話の内容は伝わりませんが、わずかに干渉する場合がございます。Logosease は音を受信している間はタッピングが効きにくく設計されていますので、その場合アンテナを手で覆ってタッピングして下さい。

チャンネルの設定の初期設定は Ａチャンネルです。設定変更は、ＰＣからのカスタマイズ機能を使います。
4 - 2 をご覧ください。

② ハンズフリー機能（ＶＯＸ機能）

ＶＯＸ機能は、発声することで自動的に送信モードにする機能です。この機能を使うことでハンズフリーでの会話が楽しめます。使い方は、受信モードにて「いっ！」というように明瞭な音声を最初に発声してください。スピーカーからピ・ボッという音がなり、自動的に送信モードへ入ります。
音声をスイッチ代わりにしていますので、「いっ！」という最初の音声は相手には通信されません。

※送信に切り替わりやすい音として「いっ！」がおすすめです。
※Logosease は音を受信している間は VOX が効きません。その場合はアンテナを手で覆ってタッピングして下さい。

ＶＯＸの設定の初期設定は ＯＮです。設定変更は、ＰＣからのカスタマイズ機能を使います。
4 - 3 をご覧ください。

※話者の声質および話し方によっては、VOX 機能・送信自動 OFF が効きにくい場合があります。その場合は、これらの機能を OFF にし、タッピングでの操作にてお願いします。

③ ボイスレコーダー機能

3 - 1 特徴

Logosease は 512MB のフラッシュメモリを持っています。ダイビング 1 本毎に音声を録音し、ダイビングレコーダーとしてダイバーの皆さんをサポートします。

音声の録音には、4 つの動作パターンを指定できます。音声ファイルは、ダイビング 1 本につき、 1 つのファイルになります。

“Transmitting record”（送信音録音）モード　：送信音声をファイルに録音します。
“Receiving record”（受信音録音）モード　：受信音声をファイルに録音します。
“All record”（送受信音録音）モード　：送信音声、及び、受信音声を、ファイルに録音します。
“Record only ”（ボイスレコーダー）モード　：送受信は行わずに、自分の音声のみをファイルに録音します。

ボイスレコーダー機能の初期設定は、**“All record”（送受信音録音）モード**です。
設定変更は、ＰＣからのカスタマイズ機能を使います。4 - 5 をご覧ください。

3 - 2 “Record only”（ボイスレコーダー）モード

送受信を一切せずに、ボイスレコーダーとしてのみ機能するモードです。
通話機として Logosease を使わないで、ボイスレコーダーとして使う場合に利用してください。
使い方は、タッピング、もしくは、VOX で送信モードにすることで、音声を録音します。
ボイスレコーダーモードは、LED が白の点滅で立ち上がり、録音中はピンクで点灯します。

3 - 3 音声仕様

・８KHｚサンプリングレート、モノラル
・１６ビット量子化コード
・ファイル形式は、wav 形式です。
・最大４８０分の音声データを格納できます。

3 - 4 フォルダー構成

VOICE フォルダーの下に、音声データファイルを格納します。
ファイルは連番で１～９９までの９９本まで格納できます。
ファイル名は以下のルールで付けられます。

RG4-0001.WAV 〜 RG4-0099.WAV

９９番まで使い切った場合は、古いファイルから上書きしていきます。
書き込んでいる途中で容量が足りなくなった場合は、そこで書き込みを停止します。

3 - 5 音声の取り出し方

・Windows パソコンーUSB ハブー付属の USB ケーブルー充電スタンドの順で接続してください。
・ダイビング後水滴を拭き取った Logosease を充電スタンドに接続してください。
・Logosease が USB メモリとして認識されますので、VOICE フォルダから音声データファイルを取り出してください。
・接続から１０分間アクセスしない場合、自動的に Logosease への接続が遮断されます。
接続から１０分以上経過した場合は、再度接続直しをして操作をお願い致します。

④ カスタマイズ機能

本機能は Windows XP,Vista,7,8 でのみ動作します。また、必ずＵＳＢ　ＨＵＢを介してご使用ください。

4 - 1 ボリュームの調整

５段階にボリュームを調整できます。ボリュームを上げると遠くの音声もはっきりと聞こえるようになりますが、レギュレータの種類によっては自身の呼気音も本体スピーカーから大きく聞こえることがあります。ボリュームを下げると、近距離での会話に適したものになります。デフォルトでは、最大の５です。

4 - 2 チャンネル指定

チャンネル指定をします。
・Ａチャンネル　（デフォルト）
・Ｂチャンネル
・Ｃチャンネル

4 - 3 ＶＯＸ機能

ＶＯＸ機能の有無を指定できます。
・使わない
・使う　（デフォルト）

4 - 4 送信自動ＯＦＦの設定

送信自動ＯＦＦの有無の設定が出来ます。
・使わない
・使う　（デフォルト）

ガイドの方は、自動的に送信がＯＦＦされるとガイドしにくいことがあります。
その場合、送信自動ＯＦＦ機能を使わない設定にしてください。

4 - 5 ボイスレコーダー機能

次の４つの動作を指定できます。
・使わない
・送受信共に音声を録音する。（デフォルト）
・送信音声のみ音声を録音する。
・受信音声のみ音声を録音する。
・送受信は機能せず、ボイスレコーダーとしてのみ機能する。
ボイスレコーダーのみの時は、通常時の送信動作で音声を録音します。

⑤ トレーニングモード

詳細は、Logosease スペシャルサイトの「サポート」→「ダウンロード」より、「Logosease トレーニングモードについて」をダウンロードしてご確認下さい。